

イントネーション句(=音調群)の区切り： /

発話がポーズ(=休止)で区切られ、その 1つ 1つのまとまりの単位をイントネーション句(=音調群)と呼びます。句と言っても《2語以上のまとまりで、それが全体で1つの品詞として働き、その内部に[S(主語)+V(述語動詞)]を持たない》という一般的な句の意味とは異なります。

基本的には、意味的、文法的に切れ目が来るところで区切ることが多いですが、どこで区切るかはあくまで話し手次第です。eva-guideには話し手が区切った箇所に記しています。

ピリオドでは通例、イントネーション句は区切られますが、ピリオドでの / は省略されています。

黙字

英語の場合綴り(スペル)と発音記号は一致していないことが多いですが、スペルにはあるが発音されない文字を黙字といいます。黙字はスペルにチョコレート色で表しています。すべてに表記されているわけではありません。

high /haɪ/ wrist /rɪst/ column /kɑːləm/

typically /tɪpɪkli/ come /kʌm/

脱落する音

脱落により発音されなくなることがある音はスペルにチョコレート色で表しています。

前後にくる音によって脱落する場合としない場合の語があります。

また通常の発話スピードでは脱落するが、発話スピードが遅くなると脱落しない語があります。すべてに表記されているわけではなく、例えばよく脱落することがある schwa /ə/ などには、一部しか表していません。

his /(h)ɪz/ have /(h)əv/ in the /ɪn//ðə/ facts /fæk(t)s/

months /mʌn(θ)s/ with the /wɪððə/ and /ən(d)/

閉鎖音 /t/ /d/

閉鎖音の /t/ /d/ は音はほとんど聞こえず間のみになりますが、時に脱落することがあるため、スペルにチョコレート色で表しています。

イントネーション句内で語末が /t/ /d/ の単語に語頭が /j/ 以外の子音の単語が続く場合、/t/ /d/ は閉鎖音となり、時に脱落することがあります。

なお、/nt/ の場合は母音が後続しても /t/ は閉鎖音となり脱落するのが一般的です。

また、「語末/t/ + 語頭/j/」の場合も /t/ を閉鎖音とする場合があります。

イントネーション句が /t/ /d/ で終わる場合も、/t/ /d/ は閉鎖音となり、時に脱落することがあります。さらに、語中でも /t/ /d/ に半母音 /j/ /r/ /w/ 以外の子音が後続すると /t/ /d/ は閉鎖音となり、時に脱落することがあります。

left me /lef(t)//mi/ adult /ədʌl(t)/ apparently /əperən(t)li/

closed mind /klouz(d)//maɪn(d)/ went off /wen(t)//ə:f/

語末の子音+語頭の母音

イントネーション句内で「語末が子音 + 語頭が母音や/j/」となる箇所の子音にアンダーラインを記しています。語末の子音を直後の語頭母音や/j/の前に移行させて、母音と一体化して発話することが多いです。語末が子音でも語頭に子音が来る場合は、そのままです。

team of automotiv**e** experts has achieved something

* 詳細はウェブサイトを参照してください